

1. 主 催 一般社団法人日本野球機構・公益財団法人全日本軟式野球連盟
2. 主 管 全日本軟式野球連盟石川県支部（石川県野球協会）
3. 後 援 スポーツ庁・石川県・金沢市・かほく市・七尾市・野々市市・中能登町・金沢市教育委員会・かほく市教育委員会・七尾市教育委員会・野々市市教育委員会・中能登町教育委員会・株式会社北國新聞社
4. 協 賛 株式会社JTB
5. 協 力 ミズノ株式会社・金沢文化スポーツコミッション
6. 会 期 令和4年7月29日（金）～8月4日（木） 7日間 雨天順延 ※予備日5日（金）
7. 会 場 開会式：いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナ
競 技：A 金沢市民野球場、B 金沢市内川スポーツ広場少年野球場 A、C 金沢市内川スポーツ広場少年野球場 B、D 金沢市戸室スポーツ広場少年野球場
E 野々市市民野球場、F かほく市少年野球場、G 七尾市中島学童野球場第1球場、H 七尾市中島学童野球場第2球場、I 中能登町野球場
8. 出場チーム **各都道府県代表43（NPB 推薦枠1を含む。）**
9. 出場資格（1）小学生で編成された女子学童チーム
（2）リトルリーグおよび日本少年野球連盟など、硬球を使用球としている団体に登録（参加）している者の出場は認めない。
（3）1チームのメンバーは監督1名、コーチ2名を除いて選手10名以上20名以内とする。
（4）20歳以上の責任者をチーム代表者として届出しなければならない。
（5）各都道府県の予選に優勝し、かつその都道府県支部長の推薦を受けたチーム、又は各都道府県支部で編成し推薦を受けたチームであること。
10. 注 意 事 項 別紙、「参加者注意・連絡事項」参照のこと。
11. 適 用 規 則 2022年度公認野球規則、2022年版競技者必携の学童野球に関する事項及び別に定める特別規則を適用する。
12. 大 会 規 律 不正出場、その他規律違反に対しては、公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
13. 使 用 球 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球（J号）を使用する。
14. 参 加 申 込 出場資格を得たチームは、公益財団法人全日本軟式野球連盟 HP より「参加申込書」をダウンロードして、所属都道府県支部へ提出すること。各都道府県支部は、チームから提出された「参加申込書」を確認後、令和4年6月24日（金）までにE-Mailにて公益財団法人全日本軟式野球連盟へ提出すること。 組合せ抽選・プログラム作成の関係上申込期日を厳守のこと。また、「大会出場同意書」はチームでまとめて、7月28日（木）までに郵送すること。
〒150-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-7 公益財団法人全日本軟式野球連盟 宛
15. 組 合 せ 抽 選 本部役員並びに主管支部役員立会いの上、下記により代理抽選を行う。
（1）日 時 令和4年6月30日（木） 14時00分
（2）会 場 公益財団法人全日本軟式野球連盟 会議室 または オンライン会議システムを利用して実施
16. 監 督 主 将 会 議 監督主将会議は実施しない。チームに対し事前に監督主将会議資料を配布する。資料を熟読のうえ、参加すること。
17. 開 始 式 開始式を下記の通り行う。
（1）日 時 令和4年7月30日（土） 8時15分
（2）会 場 金沢市戸室スポーツ広場少年野球場
※昨年度優勝「栃木スーパーガールズ」及び当該球場第1試合の2チームは参加すること。
18. 表 彰 第1位 表彰状・優勝旗（持ち回り）・優勝盾・優勝メダル
第2位 表彰状・準優勝盾・準優勝メダル 第3位 表彰状・第3位盾・第3位メダル
19. 参 加 賞 出場チームに対して、参加賞を贈る。
20. 参 加 料 1チーム20,000円(監督主将会議の際に納入のこと。)
21. 旅 費 ・ 宿 泊 費 大会出場のための旅費、宿泊費は参加チームの負担とする。宿泊の斡旋等は別途案内する。
22. 引 率 責 任 者 各チームは必ず引率責任者（20歳以上の成人、監督が兼ねても良い）をつけなければならない。
23. そ の 他（1）新型コロナウイルス感染症の拡大により、監督主将会議および開会式を中止する場合がある。
（2）出場チームのユニフォームは、一般社団法人日本野球機構が手配をする。ユニフォームの管理、保管は、各都道府県支部が行い、毎年持ち回ることとする。なお、一般社団法人日本野球機構が手配するユニフォームは、ユニフォーム上と、アンダーシャツ、ストッキング又はカラーソックス、ベルト、帽子とする。その他については、各自で手配する。※ヘルメットは各チームで手配すること。
※詳細については、別紙「参加者注意・連絡事項」参照のこと。
（3）出場チームは必ず背番号 1番から33番（主将10番、監督30番・コーチ29番、28番）及び左袖に都道府県名を付けること。
（4）試合中、打者、次打者、走者及びベースコーチは競技者必携に記載のヘルメットを着用すること。捕手は連盟公認のヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用すること。木製バット以外は、連盟公認バットであること。
（5）選手の健康管理に配慮し、
①同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
選手の肘・肩の障害予防として、一人の投手が1日に投球できる数を70球以内(4年生以下60球以内)までとする。なお、試合中に規定投球数に達した場合、その打者の打撃完了または攻守交代までとする。
※その他の詳細については、競技者必携内「学童部の投球数制限について」を参照
②リエントリー制を採用する。※詳細については、別紙「参加者・注意連絡事項」参照のこと。
（6）監督及び当該選手に限り抗議することが許される。
（7）参加選手は、健康保険被保険者証又は、これに準ずるものを持参のこと。
（8）あらかじめ2022年度版競技者必携、特に競技に関する連盟特別規則《学童部(女子共)》を熟読しておくこと。
（9）競技者は、大会本部が実施する新型コロナウイルス感染予防対策に協力し、各チーム内でも感染予防対策を行うこと。
（10）大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。
（11）大会中、受動喫煙防止に努め、喫煙可能区域以外での喫煙を厳禁とする。なお、喫煙区域内でも未成年者の前では配慮すること。
（12）全国瞬時警報システム（Jアラート）が発令された場合、競技者は大会運営者ならびに審判員の指示に従うこと。
（13）出場チームの代表者、監督、コーチのいずれか1名は、JSPD 公認コーチ3、JSPD 公認コーチ1、JSBB 公認学童コーチ、スタートコーチ（スポーツ少年団）【旧：スポーツ少年団認定員】、公認学童指導者基礎IU-12のいずれかの有資格者が望ましい。（2024年から義務付）
（14）ホームベースは、一般用を使用する。詳細は、2022年度版競技者「野球競技場区画線(学童部)」p23を参照のこと。
（15）本大会についての問い合わせ先